

平成25年度 第4回 経営戦略会議 審議結果

日時：平成25年11月5日（火）9：00～11：20

場所：5階庁議室

<議題1>9：00～10：00

【議題】 第2次熊本市地下水保全プランについて

【提案局】 環境局（水保全課）
説明者：石櫃環境局長

【出席者】 幸山市長、牧副市長、高田副市長、西川総務局次長、原本企画振興局長、岡財政局長、多野農水商工局長、田上観光文化交流局次長、永山都市建設局長、宮原上下水道事業管理者、井上首席教育審議員

【付議内容】 第2次熊本市地下水保全プランについて確定したい

【資料】 ◇付議事項調書（様式1）
◇第1次熊本市地下水保全プラン（旧プラン）の策定と5年間の取り組み等について
◇第2次熊本市地下水保全プラン（新プラン）の概要
◇現行プラン（第1次熊本市地下水保全プラン）と新プラン（第2次熊本市地下水保全プラン）の施策体系の比較
◇第2次熊本市地下水保全プラン（平成26～30年度）
◇地下水保全に伴う関係局課・機関等連携図
◇第2次地下水保全プラン策定のスケジュール
◇政策調整会議内容検討表（様式4）

【審議結果】 ◆継続審議

【議事概要】 ◇第2次熊本市地下水保全プランについて、以下の点に対応の上、改めて審議する。

- ・ 第2次プランのポイントを再整理すること。
- ・ 目標値の設定に対する取り組みによる実績の積み上げについての記載を検討すること。
- ・ 一人当たりの生活用水使用量の目標値について、その基準や目標値について再度検討すること。
- ・ 硝酸性窒素濃度に関する補助的な指標の設定について検討すること。

【審議の経過】 ◇硝酸性窒素汚染対策のために取り組んでいることをふまえて、その取り組みに関する補助的な指標を設定すると良いのではないか。（原本企画振興局長）
⇒農水商工局と協議した上で、補助的な指標の設定について検討したい。（石櫃環境局長）

◇家畜排せつ物の処理については、処理施設を設置して対応する他、希釈して公共下水道に流すことはできないのか。(多野農水商工局長)

⇒処理施設を設置して堆肥化するとともに、希釈することも考えており、処理量については上下水道局と協議の上、考えていく。(石櫃環境局長)

⇒入れることは可能だが、それを農家が下水道使用料としてどれだけ負担できるかということと、行政の負担をどうするのかということ。

(宮原上下水道事業管理者)

◇水源かん養林について、熊本市として独自に水源かん養量の実績値として計測することを検討してはどうか。(原本企画振興局長)

⇒第1次プランで目標値を設定した時には、水源かん養量の実績値を計上するという想定ではなかったが、水源かん養量の計測に関して、考え方を整理して、熊本市としての実績値を積み上げていきたい。(石櫃環境局長)

⇒元々目標値を設定した際に実績値として計上することを想定していなかった数値を加えることは、これまでの説明とつじつまが合わなくなってきたということ。そこは説明がつく内容にすべき。(幸山市長)

◇一人当たりの生活用水使用量の目標値は、第1次プランでの設定時は九州市町村平均を基準とするという説明で、今回は政令指定都市平均を基準としているとのことだが、基準を変えたことの説明をどうするか。そもそも、今後節水器具が発達していけば、自然と達成できる目標ではないのか。(幸山市長)

⇒5年間で5ℓは自然に達成できる目標ではないと考えている。今年度も230ℓを達成できない見込みであり、今後目標を達成するためには、普及啓発などより一層の取り組みが必要。(石櫃環境局長)

⇒目標値の設定について、取り組んだ実績をどう積み上げるからその目標を達成できる見込みになるという記載があると、計画として精度が上がるのではないか。(多野農水商工局長)

◇第2次プランのポイントが、水ブランドのPRに取り組む点、総合計画の体系に合わせた点、目標値を見直す想定である点となっているが、本来は、課題や問題に対してどう取り組んでいくかというところがポイントではないか。(幸山市長)

⇒ご指摘をふまえて、見直す。(石櫃環境局長)

◇大規模事業者のくみ上げは許可制だが、くみ上げた量は自己申告になっており、その確認が行われていないのが問題だと認識。これをどのように監視していくのかが一つのポイント。(宮原上下水道事業管理者)

⇒確認する手法について検討したい。(石櫃環境局長)

<議題2>10:00~11:20

【議 題】 平成26年度公共事業等に要する用地取得計画について

【提 案 局】 企画振興局（企画課）
説明者：原本企画振興局長

【出 席 者】 幸山市長、牧副市長、高田副市長、西川総務局次長、原本企画振興局長、
岡財政局長、石櫃環境局長、田上観光文化交流局次長、永山都市建設局長、宮
原上下水道事業管理者、大塚消防局長

【付議内容】 平成26年度公共事業に要する用地取得計画について確定したい。

【資 料】 ◇付議事項調書（様式1）
◇経営戦略会議における公共用地取得の取り扱いについて
◇平成26年度用地取得計画一覧表
◇平成26年度公共事業等に要する用地取得計画検討状況（審議案件）
各事業別調書（資料1）
◇平成26年度公共事業等に要する用地取得計画検討状況
（報告案件：経営戦略会議への付議を要しないもの）（資料2）
◇政策調整会議内容検討表（様式4）

【審議結果】 ◆原案了承

【議事概要】 ◇平成26年度公共事業等に要する用地取得計画について確定した。

【審議の経過】（審議案件：消防局）

◇用地の選定については、地元との調整も含め、城南総合出張所で行うのか。
（高田副市長）

⇒防火水槽が必要な場所については、整備計画で大まかなエリアを設定して
おり、エリア内での用地選定については、地元自治会において関係地権者
と協議の上決定している。出張所は地元とのパイプ役をさせていただいてい
る。（大塚消防局長）

◇整備計画における20箇所の中で、整備の優先順位は決めてあるのか。
（幸山市長）

⇒消防局で特に優先順位はつけていない。整備計画自体も城南町の時に水利
が必要な箇所をということで決められているので、調整が出来たところか
ら順に整備している状況。（大塚消防局長）

⇒整備計画の20箇所について見直しの予定等はあるのか（幸山市長）

⇒今のところ見直しの必要は無いと考えている。（大塚消防局長）

(審議案件：都市建設局)

◇今回の街区公園の設置により、常山の一人当たり公園面積は基準をクリアできるのか。(幸山市長)

⇒今回整備により 1.0 m²/人をクリアできるため、重点校区も解消される(永山都市建設局長)

◇都市計画決定は行わないのか。補助は活用できないのか(高田副市長)

⇒都市計画決定は行わないが、都市公園として位置付けており、交付税の算定には入っている。また、補助については、規模要件に合致しないため活用できない。(永山都市建設局長)

◇起債は一般単独債となっているが、交付税措置のあるメニューの活用は出来ないのか(牧副市長)

⇒整備は2年に1回、場所の選定も地元からということもあり、位置付けが難しいと思われるが、起債については、今後研究する。(岡財政局長)